

自治会で転圧機を購入しました

竜丘地域自治会で購入した転圧機（道路の穴埋めに使う機械）の操作講習会を9月28日の夕方から1時間程度、15名の参加で行いました。投光器を使用して自治振興センター東側、排水柵周辺のくぼみを実地講習場所としました。

竜丘地区内に於いても至る所で道路の凹みが見受けられます。従来はレミファルトを凹みに入れ、シャベル等でたたいて伸ばすだけでしたので直ぐにはがれてしまいました。今回の作業は下地の汚れを取り除き、舗装用ワンタッチスプレーを吹き付け、レミファルトをはがれにくくしました。



転圧機の操作方法と、使用後の転圧機手入れ方法の講習を受けて、交代しながら実際に動かしてみました。排水柵周辺のくぼみ部分がより平らに綺麗に出来ました。転圧機を使用したい場合は、事前に講習を受けていただく必要があるため、竜丘自治振興センターまでご連絡をお願い致します。（時又副区長 加藤秀夫）



地震総合防災訓練が実施されました

一感染症まん延防止に配慮した避難所開設・運営合同訓練—
8月30日（日）に行われた「竜丘地区地震総合防災訓練」はコロナ禍で、感染症予防対策に重点を置きました。現在、南海トラフ地震、伊那谷断層地震がいつ起きてもおかしくない状況の中、今回の訓練は非常に有意義なものとなりました。感染症対策も含めて行う避難所開設は、初の試みです。

感染症予防対策において一番重要なことは、感染を広めないことです。まずは避難所受付で検温をし、健常者と発熱者（体温37.5度以上）の区別することです。発熱者は健常者とは別のフロアに隔離します。避難所の待機所も一定



の間隔をあける必要があります。今回の訓練では、竹を使ったパーティション（間仕切り）でプライベートスペースを確保しながら一定の間隔を確保しました。そうすると必然的に避難所収容人数は少なくなります。これは今後の課題となるでしょう。今後、訓練を繰り返すことで課題を浮き彫りにし、修正をすることが有事の際に被害を最小限に止めることができると考えています。（竜丘自主防災会 副会長 下平勝哉）



新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をおねがいします

3つの「密」を避けましょう!

①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には
消毒などを行ってください。

連載シリーズ 第16回 ～紹介します～ 「木っ端人形」



—郷愁を誘う大名行列人形—
 昨年5月に発足した「竜丘木っ端人形づくりの会」では、大名人形づくりを中心に活動しています。

30年ほど前に県の画家伊藤公二氏の作った大名行列人形（高さ約3.5cm）15体を2倍の大きさに拡大し駄科の久保田寛人氏に刻んでいただきました。

4つの木片（土台・体・顔・槍等の道具）になっているので彩色して貼り合わせるだけです。竜丘地区文化祭でも展示しましたが、「懐かしい感じのする人形」と好評でした。すでに4回講習会（1回あたり10講）を開催し20名余の方が卒業しております。11月16日（月）から第5講を始めますので、希望される方は竜丘公民館までお申し込みください。（竜丘木っ端人形づくりの会 会長 木下和彦）



表情が其々違う人形たち

新・竜丘駐在所の工事が始まりました

10月に入り、いよいよ新しい竜丘駐在所の建設に向けて工事が始まりました。完成予定は、令和3年3月下旬です。

建設地付近では、8時～17時30分の間工事作業をしますので、通行の際はご注意ください。



飯田市議会報告会・意見交換会が実施されました

10月7日（水）19時より竜丘公民館にて、南部ブロック（竜丘・川路・三穂）での議会報告会及び意見交換会が開催されました。

第1分科会「環境問題・住みよいまちづくり」、第2分科会「子育て・地域コミュニティ」、第3分科会「地域の魅力・地域資源・産業振興・建設」と3つの分科会にわかれ、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため全体会議は行われませんでした。

私が参加した第3分科会では、人の流れは増えてきているがそれが地域振興にどう繋がっていくのか。またどう繋げていくのか。地域の魅力を引き出す努力をして自分たちの住んでいる所を豊かにしよう。住んでいる地域に詳しくならなければ…、などの意見が出されました。また、議員の方々の県内等の視察報告会、土地利用活動の意見交換会などを実施してほしいとの要望も出されました。

住んでいる私たちが、地域の魅力を探し引き出し、そして発信していくことが大切だと感じました。（地域振興委員会 副委員長 横井美津子）

